

# 北東アジア動向分析

## ●中国(東北三省)

### 2021年上半期の東北三省主要経済指標

中国国家统计局の発表によると、2021年上半期の中国の国内総生産(GDP)は、53兆2167億元(名目値)であり、実質GDP成長率は前年同期比12.7%となった。そのうち、2021年上半期の東北三省の域内総生産(GRP)と実質GRP成長率は、遼寧省が1兆2641億元で前年同期比9.9%増、吉林省が6083億元で同10.7%増、黒龍江省が5991億元で同10.3%増となった。

2021年上半期における三省のGRPの産業別の内訳をみると、遼寧省の第1次産業の付加価値額は866.3億元で前年同期比6.0%増、第2次産業は4951.8億元で同10.4%増、第3次産業は6823.1億元で同10.1%増となった。吉林省の第1次産業の付加価値額は410.4億元で同6.1%増、第2次産業は2205.3億元で同13.8%増、第3次産業は3467.8億元で同9.5%増となった。黒龍江省の第1次産業の付加価値額は528.7億元で同7.9%増、第2次産業は1923.8億元で11.1%増、第3次産業は3538億元で10.3%増となった。東北三省における第3次産業の付加価値額の成長率は2020年のマイナスからプラスになった<sup>1</sup>。そのうち、遼寧省の飲食業は同38%増、宿泊業は同61%増となり、吉林

省の宿泊飲食業は同35.7%増となった。これは中国が徹底した感染対策を行ったことにより、コロナ禍にあってもサービス産業が正常化していることを示している。

東北三省の工業生産の動向をみると、2021年上半期の一定規模以上の工業企業(年間売上高2000万元以上)の付加価値増加率は、遼寧省が11.5%増、吉林省が16.0%増、黒龍江省が12.1%増になった。さらに、主な産業部門別の数値をみると、遼寧省では自動車製造業が同26.7%増、一般設備製造業が21.8%増となり、吉林省では医薬品製造業が同42.3%増、食品製造業が同15.6%増となった。

投資については、2021年上半期における遼寧省の固定資産投資額(農家投資を除く:以下同じ)は前年同期比8.6%増、吉林省は同15.9%増、黒龍江省は同15.2%増であった。固定資産投資額の産業別の内訳をみると、遼寧省の第1次産業は前年同期比31.6%増、第2次産業は同1.7%増、第3次産業は同11.3%増であった。吉林省の第1次産業の固定資産投資額は同50.2%増、第2次産業は同10.5%増、第3次産業は同17%増であった。黒龍江省の第1次産業の固定資産投資額は同58.7%増、第2次産業は同7.9%増、第3次産業は同17.2%増となった。いずれの地域でも第1次産業の固定資産投資額が大幅に増加したことが示された。

消費動向をみると、2021年上半期の社会的消費財小売総額は、遼寧省が4582.4億元で前年同期比17.1%増、吉林省が1931.4億元で同18.8%増、黒龍江省が2472.7億元で同24.8%増となった。消費者物価指数(CPI)は、遼寧省が前年同期比0.8%上昇、吉林省が同0.3%上昇、黒龍江省が同0.1%上昇した。

貿易動向をみると、2021年上半期の輸出入額は、遼寧省が3715.3億元で前年同期比13.6%増、吉林省が791億元で同30.2%増、黒龍江省が931.5億元で同18.4%増となった。三省とも、輸出入額の伸び率は2020年通年のマイナスからプラスになった。

### 新型コロナウイルスとフードサプライチェーン

コロナ禍の影響を受けて、世界の食品サプライチェーンの安定性に不安が広がっている。食料の収穫や流通が滞り、食料システムはかつてないほど脅威にさらされている。世界銀行の報告書によれば、コロナ禍はほぼすべての国の所得の低い脆弱な世帯に打撃を与え、その影響は2021年から2022年まで続き、デルタ株の感染流行が加わったことにより、おそらく2022年以降も続く予想している(世界銀行、2021)。

新型コロナウイルス感染発生・流行初期は、各国の食料貯蓄と国際農産品貿易

	単位	2019年				2020年				2021年上半期			
		中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江
経済成長率(実質)	%	6.1	5.5	3.0	4.2	2.3	0.6	2.4	1.0	12.7	9.9	10.7	10.3
工業生産伸び率(付加価値額)	%	5.7	6.7	3.1	2.8	2.4	1.8	6.9	3.3	15.9	11.5	16.0	12.1
固定資産投資伸び率(名目)	%	5.1	0.5	▲16.3	6.3	2.9	2.6	8.3	3.6	12.6	8.6	15.9	15.2
社会的消費財小売額伸び率(名目)	%	8.0	6.1	3.4	6.2	▲3.9	▲7.3	▲9.2	▲9.1	23.0	17.1	18.8	24.8
輸出入収支	億ドル	4,215.1	▲142.0	▲94.6	▲166.4	5,350.3	▲189.4	▲106.8	▲124.6	2,496.6	▲92.7	▲69.3	▲80.8
輸出伸び率	%	0.5	▲2.6	▲0.6	18.8	3.6	▲15.3	▲10.3	3.2	28.1	20.5	21.5	17.7
輸入伸び率	%	▲2.8	▲5.0	▲5.7	4.2	▲1.1	▲5.8	1.1	▲22.5	25.9	9.1	32.8	18.6

(注)前年比

工業生産は、一定規模以上の工業企業のみを対象とする。2011年1月には、一定規模以上の工業企業の最低基準をこれまでの本業の年間売上高500万元から2,000万元に引き上げた。

2011年1月以降、固定資産投資は500万元以上の投資プロジェクトを統計の対象とするが、農家を含まない。

2019年以降の貿易データは公表値が元建であったことから、輸出・輸入の伸び率は公表されている元建数値の伸び率、貿易収支は元建貿易収支の数値を人民銀行公表の期末為替レート

(2019年12月末:7.0128、2020年12月末:6.5434)によりドル建てに修正したものである。

(出所)中国国家统计局、商務部、遼寧省統計局、吉林省統計局、黒龍江省統計局ウェブサイトならびに黒龍江日報、遼寧日報、吉林日報、人民銀行の資料より作成。

<sup>1</sup>注:吉林省2020年年間の第3次産業の付加価値額の成長率は0.1%であった。

図 世界の食品価格指数の推移



(出所) IMF のデータより、筆者作成。

注：2016=100、食品価格指数は穀物、植物油、肉、魚介類、砂糖、その他の食品（リンゴなど柑橘類以外の果物、バナナ、チャナ（豆類）、魚粉、落花生、牛乳などの乳製品、トマトなどの野菜）が含まれている。

の支援により、食料流通側と消費側には影響があったが、供給側への影響は少なかった。新型コロナウイルスの発生後の2カ月以内（2020年3月18日から5月11日）、22カ国が1つ以上の食品の輸出制限を開始し（Laborde 等、2020）、食品輸入関税を引き下げて国内食品価格を下げる対応策を実施した。その後、感染の更なる拡大により、肥料や飼料などの生産要素のサプライチェーンの中断と農業従事者のウイルス

感染により、供給側への影響も大きくなり価格も上昇している。図によると、世界食品価格指数は2020年8月から9カ月連続で上昇し、過去10年では最も早いペースである。これは、各国の農業安定生産と食料流通における国際協力を強化する必要があることを示している。

ERINA 調査研究部研究員  
董琪

#### 参考資料

1. 世界銀行 2021 <https://www.worldbank.org/en/topic/agriculture/brief/food-security-and-covid-19>
2. Laborde, David, Abdullah Mamun, and Marie Parent, "Food Export Restrictions in the Era of COVID-19," Food Security Portal (Washington: International Food Policy Research Institute), May 20, 2020.